

- 地域に根差し、人との活発な交流や賑わいを促す庁舎計画 -

■ 多様な人が気軽に訪れ、賑わいのあるエントランス空間

- ・周囲の歩行者動線を繋ぎ、人々が気軽に立ち寄れる「アクセスポイント」
- ・プロムナードに面する北側、地下鉄やバス利用者の主動線となる南側の2か所の入り口で周辺地域と施設を繋ぐ「ネットワークポイント」
- ・人の動きや賑わいが感じられ、ふらっと気軽に訪れる「賑わいポイント」



■ 全ての人に分かり易く、使い易いエントランス空間

- ・シンプルな形状と高い視認性による「全ての人に分かり易いエントランス」
- ・エントランスから各機能にスムーズに連続していく「明快な施設動線」
- ・分かり易い色彩やサインなど「全ての人に分かり易い施設計画」
- ・来館する全ての人に優しい「ユニバーサルデザイン」

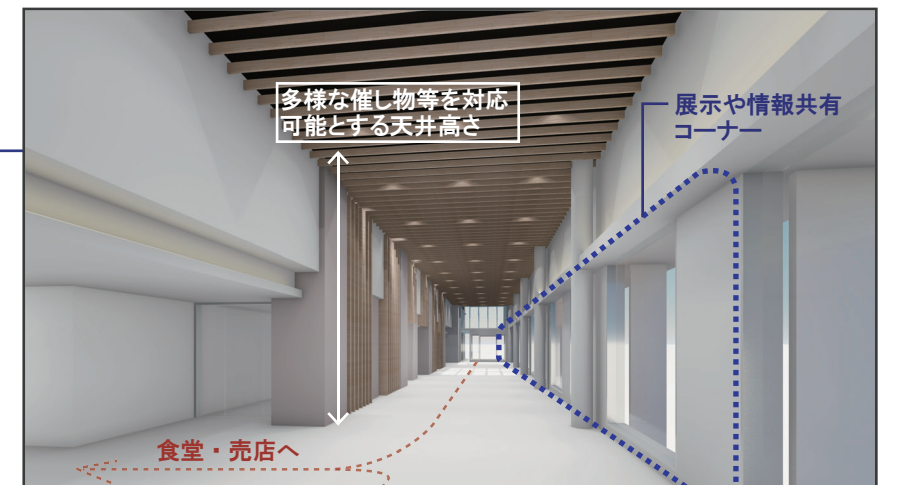


■ 地域と連携し、多様な情報や催し物が楽しめるエントランス空間

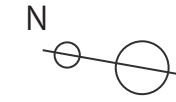
- ・近代美術館さんや龍谷学園高等学校さんとのタイアップ、身近に美術品や生徒さんの作品が身近に楽しめる「ミニ美術館」
- ・多様なインフォメーションや情報を共有できる「情報共有・発信拠点」
- ・「食堂」や「消費者の部屋」等と連動利用可能な「マルチエントランス」



エントランスコリドー<ミニ美術館>



人と街をつなぐエントランスコリドー、多様な利活用を可能とし、活発で賑わいのある空間を演出



西19丁目通り

北一条お天気公園



来庁者駐輪場

ポロクル

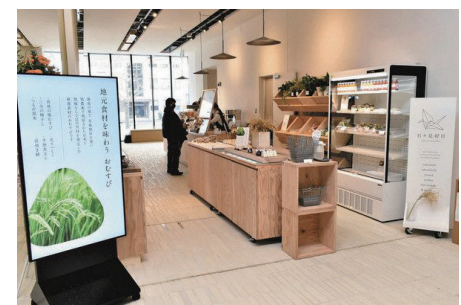
プロムナードと視線で繋がる開放的な食堂



プロムナードと視線が繋がる開放的食堂空間

外部と内部の視線の繋がり

気軽に立寄れる売店



農政さんの展示空間 (消費者の部屋)



エントランスコリドーと合わせた一体利用も可能

道路境界線

合庁機能

トイレ

トイレ

ユニバーサルトイレ (多様な人に配慮)

自動販売機

授乳室 (おむつ替え)

来館者受付

一般開放エリア

セキュリティライン

エントランスコリドー<ミニ美術館>

屋根付き車いす駐車場

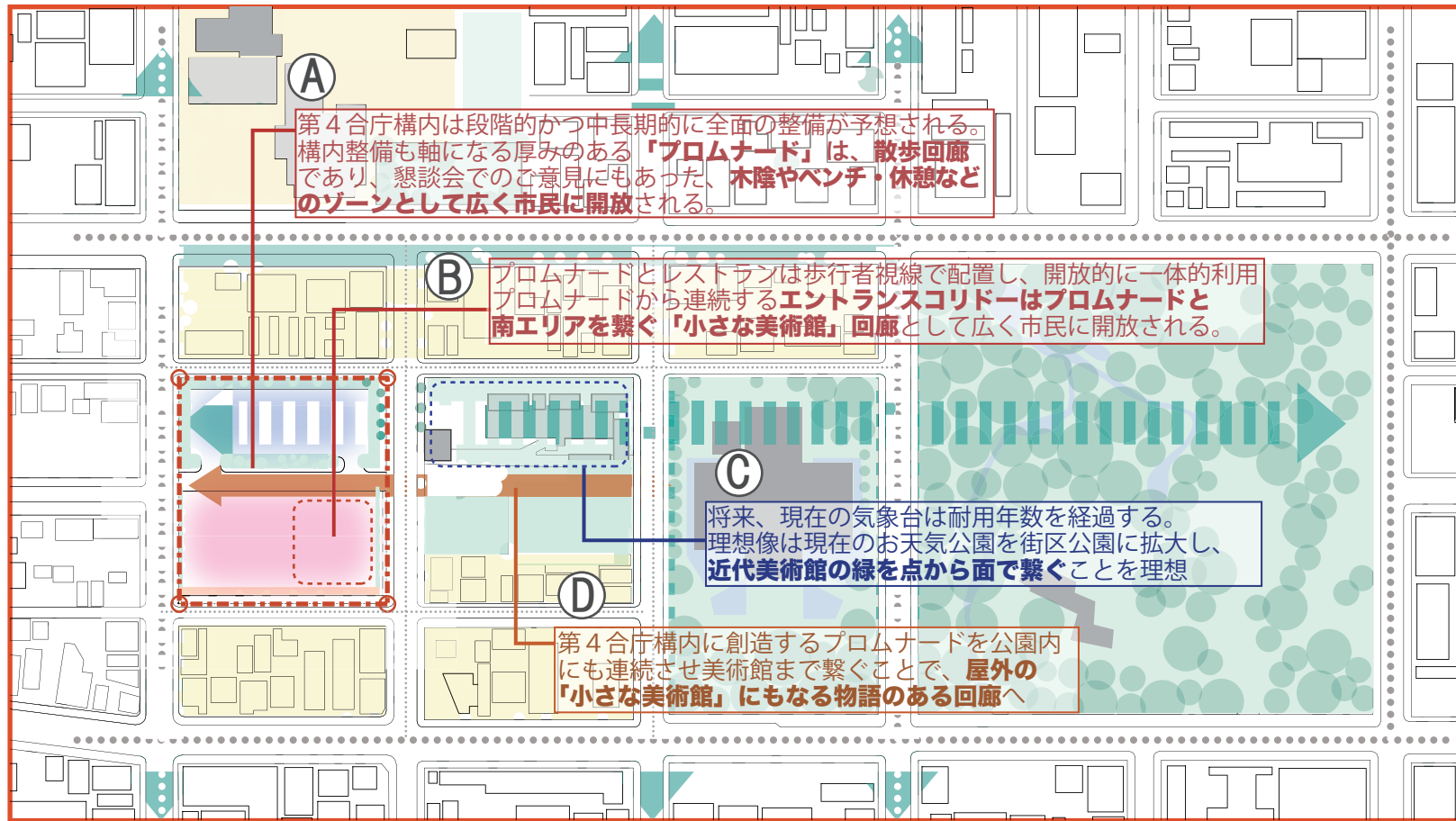


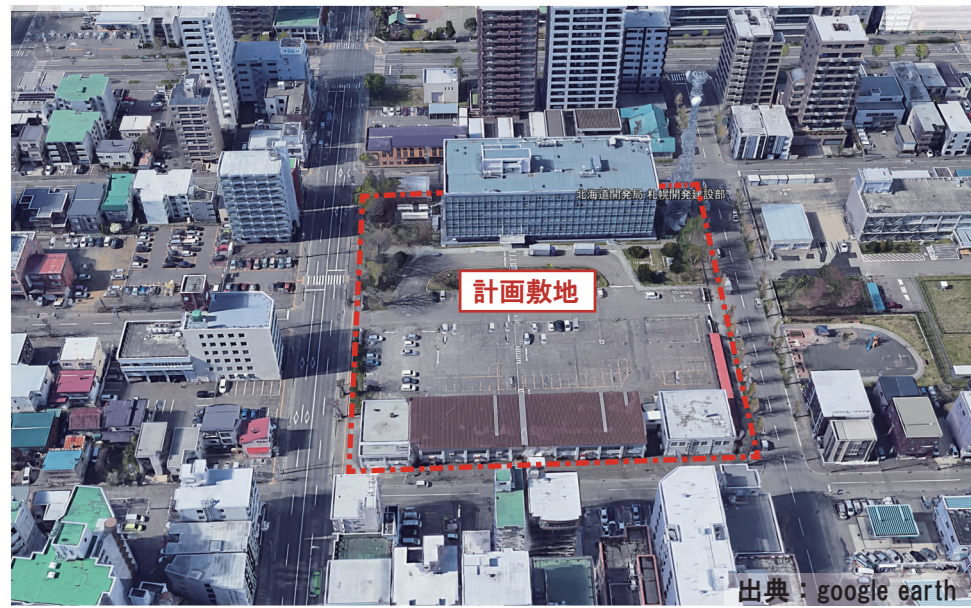
一般駐車場



- 人と緑が繋がる街づくり、未来へと繋ぎ、街とともに歩いていく施設計画 -

- 本計画により、このエリアの良好な環境の創造に加えて、今後、**将来に向けての誘導・誘発・連動性**を本整備を起爆剤としてエリアマネジメントに踏み込み理想像を広げる。
- 現在は、西19丁目エリアを中心に大きく**3つの緑が環境軸**を構成している。街中の豊かな緑であるが、その3つの緑は繋がっていない。そこで、南北に多少ずれている3つの緑を南北に「**新たな繋がり**」として結び、点である緑を線に、その先に面としての緑を見据えた豊かな環境創造をしていく。
- 札幌市中心部から西の緑豊かな自然環境を付加価値とし、また本事業のアイデアの一つである『お散歩マップ』等により、今後、この緑の軸に沿った豊かな散歩道に繋がるとを願い誘導する。
- 構内は、安心・安全な歩行者回廊を形成し、**市中心へと空間と緑により繋がるウォークロード**が、お散歩マップのバリエーションにも発展する。また、徒歩や自転車といった自然環境にも配慮したエリア全体が緑豊かなプロムナードへの発展に繋がる可能性にも期待する。
- 今回の第4合同整備による大きな変革は出来ないが、本懇談会を通じたエリアの創造のきっかけ、その**未来理想図**が、桑園まちづくりやその他各団体などをはじめ、札幌市の環境整備・計画等に有効に広がれば大きな意味が生まれる。第4合庁がその西側の起点となり、さらなる西側拡大への一歩となる。
- 外観や低層部、コリドーのデザインなどもこのような**地域創造**にリンクして検討する。そのため今回の建物デザイン3つの緑による環境軸、そして3つの緑を繋ぐ「**新たなつながり**」を意識し、その結節点として、また、**将来のまちづくりへと繋がる新たなシンボル**としての建物を検討していく。





■南側上空から望む

出典：google earth



■西側上空から望む

出典：google earth



■北西側上空から望む

出典：google earth

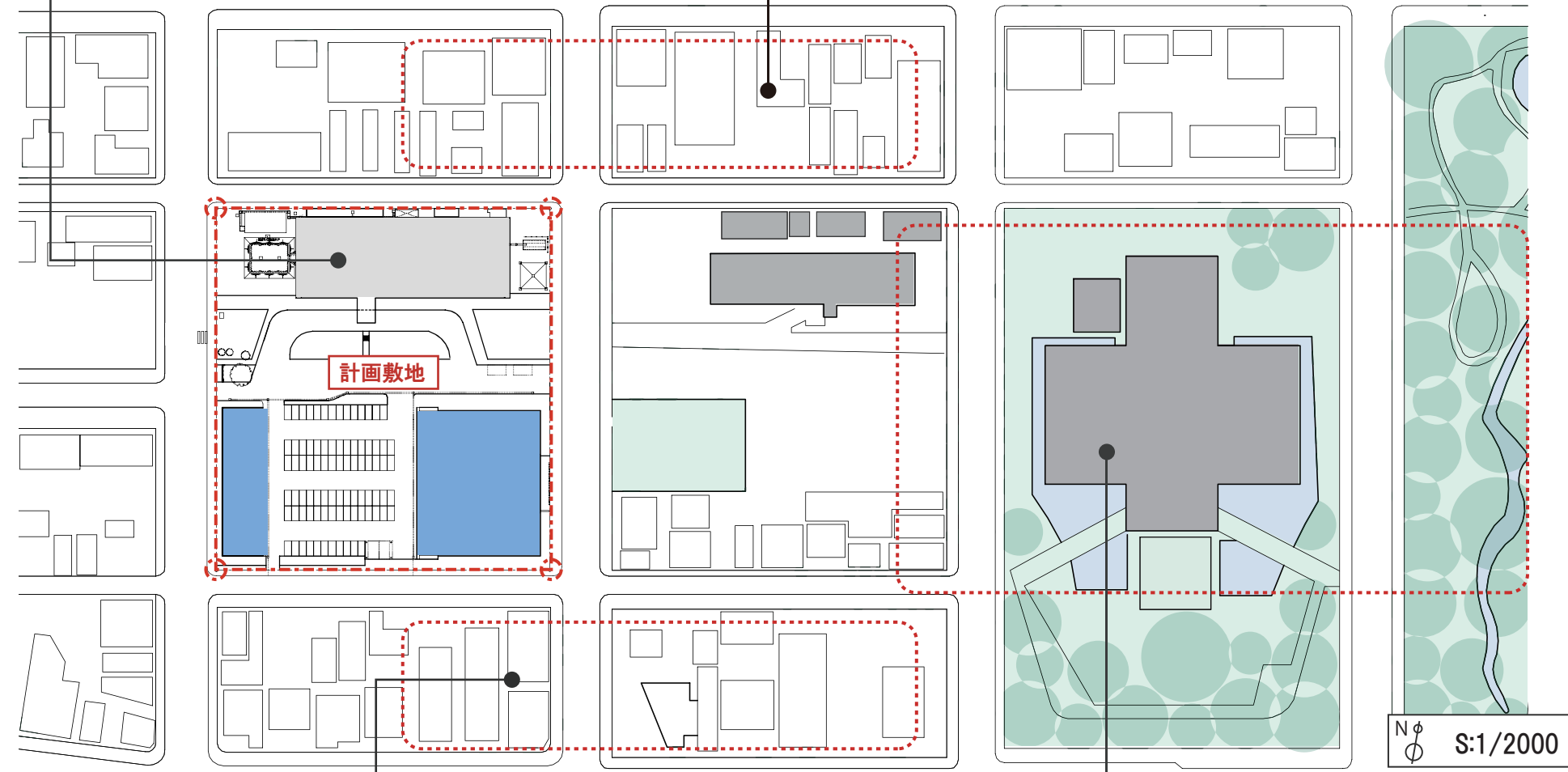


【札幌開発建設部】 ガラスカーテンウォール+縦リブの外観デザイン



【敷地北側】 バルコニー等を持つマンション群 色調は白～アースカラー系

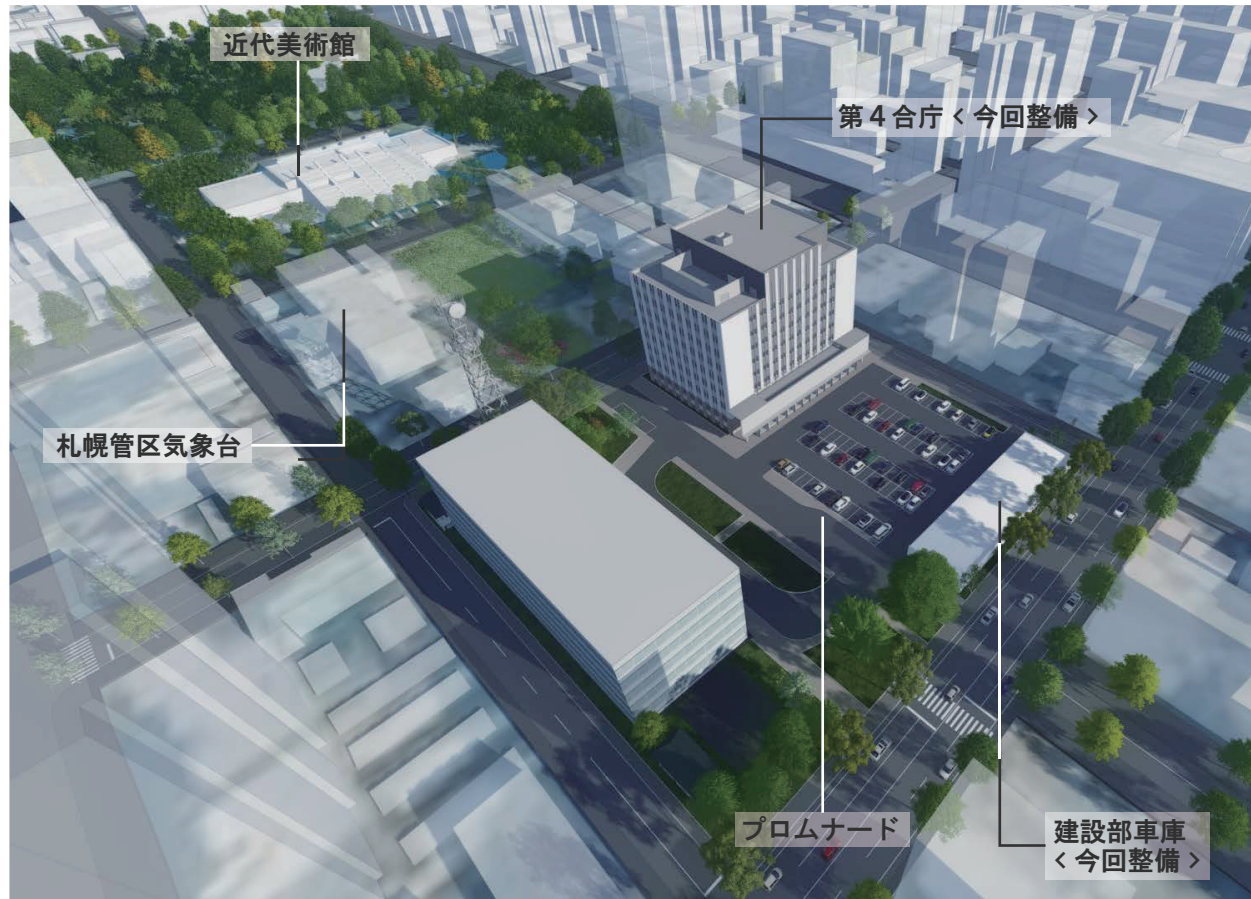
出典：google earth



【敷地南側】 バルコニー等を持つ一般的なマンション群



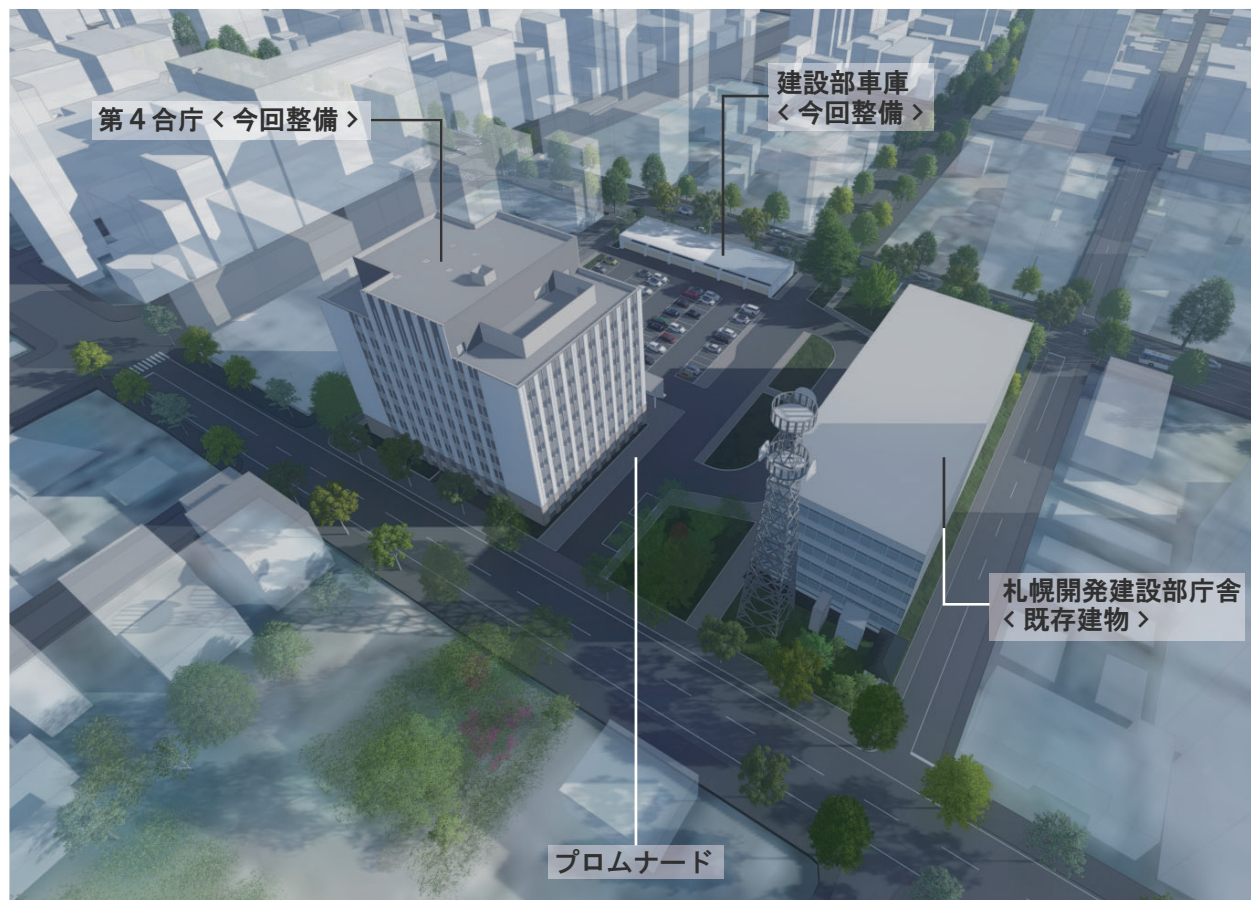
【敷地東側】 特徴的な外観の近代美術館と潤いある環境、開けた視界



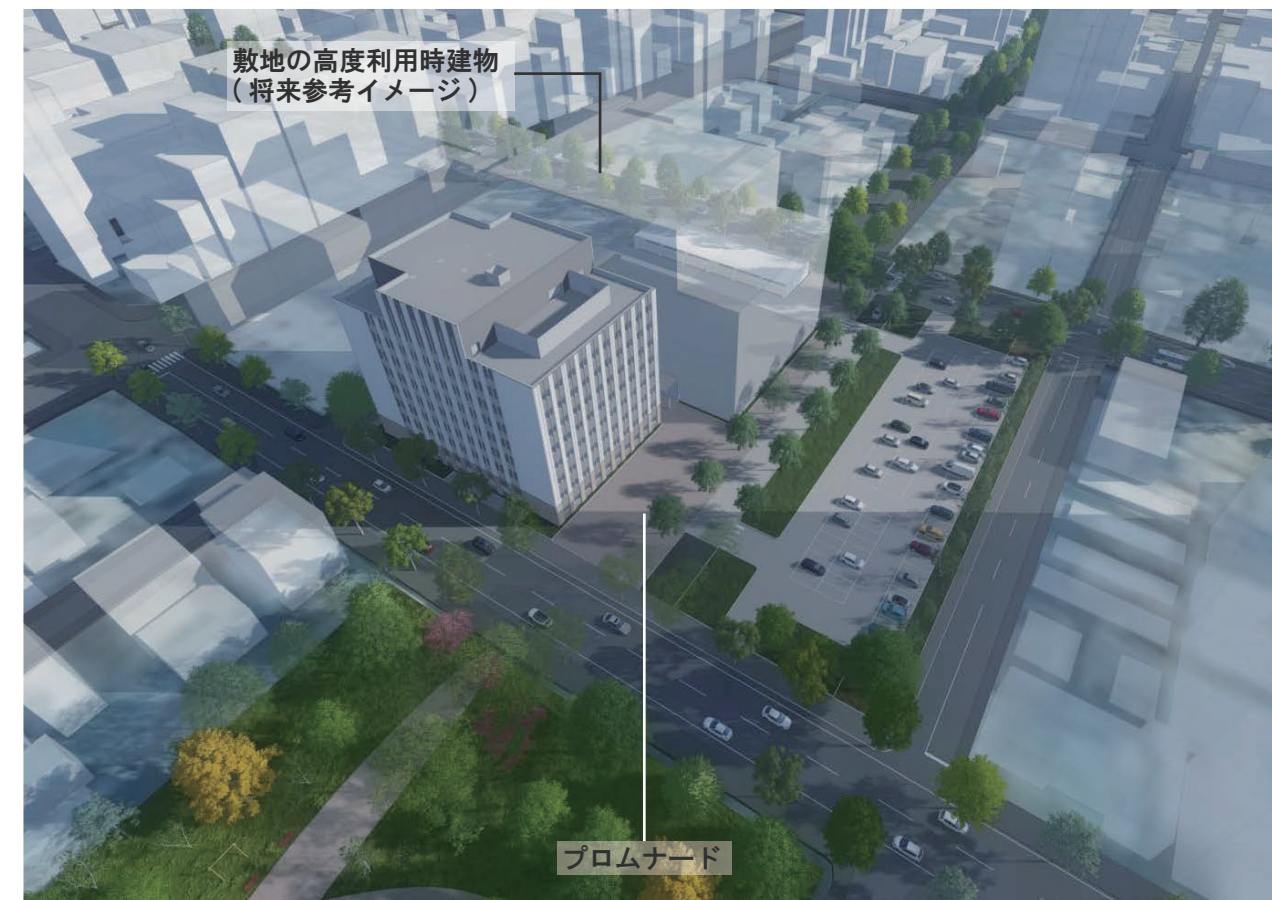
第4合庁完成時 <北西側より俯瞰>



敷地の高度利用時(将来計画) <北西側より俯瞰>



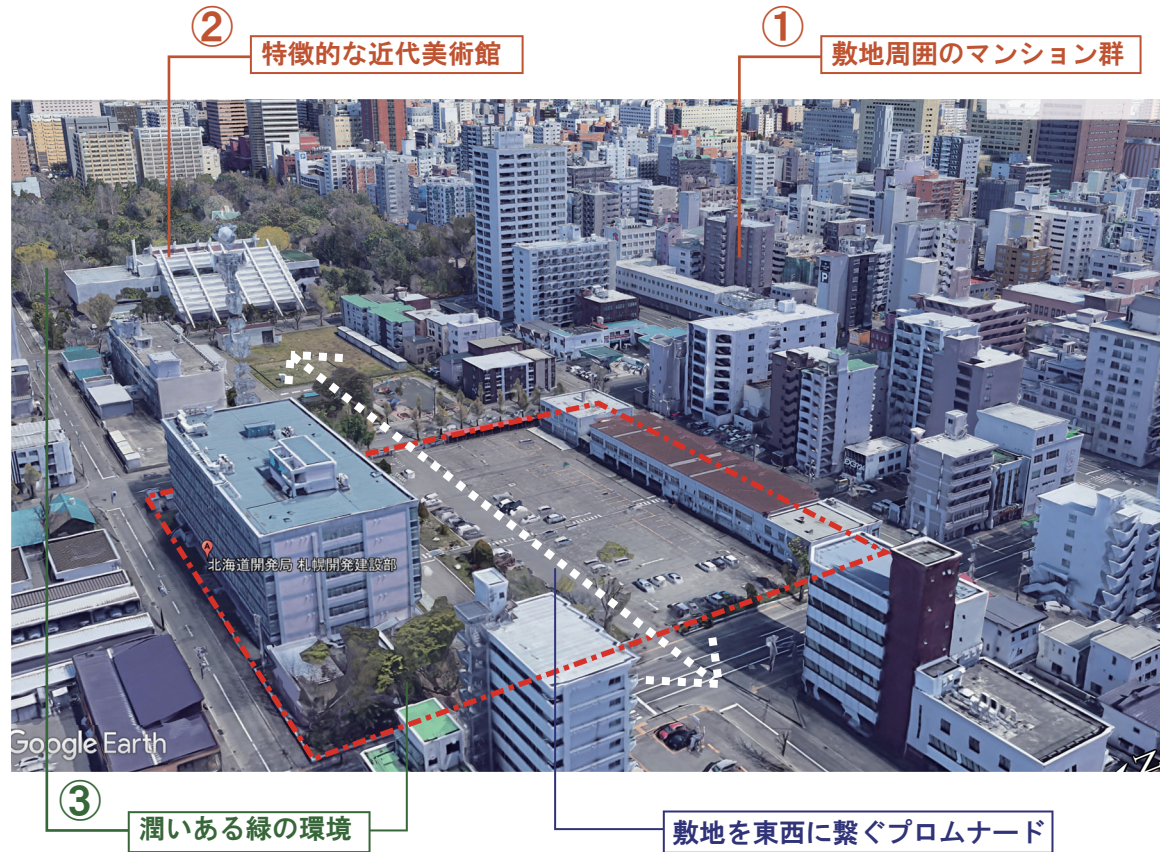
第4合庁完成時 <北東側より俯瞰>



敷地の高度利用時(将来計画) <北東側より俯瞰>

① 計画敷地周辺環境を整理する。

- 計画地の北側、南側、西側周囲はマンションを始めとした、白からアースカラー系の建物が存在する。マンションのバルコニー等が多く見受けられ、横方向やポツ窓のような外観が多い。
- 計画地の西側はお天気公園から近代美術館、知事公館へと繋がる開かれた環境となっている。近代美術館は構造体を利用した特徴的な縦方向のデザインで周囲と呼応している。
- 敷地内や敷地周囲にはまとまった緑地帯や街路樹など、潤いある環境が存在する。



③ 外装の色合いを検討する

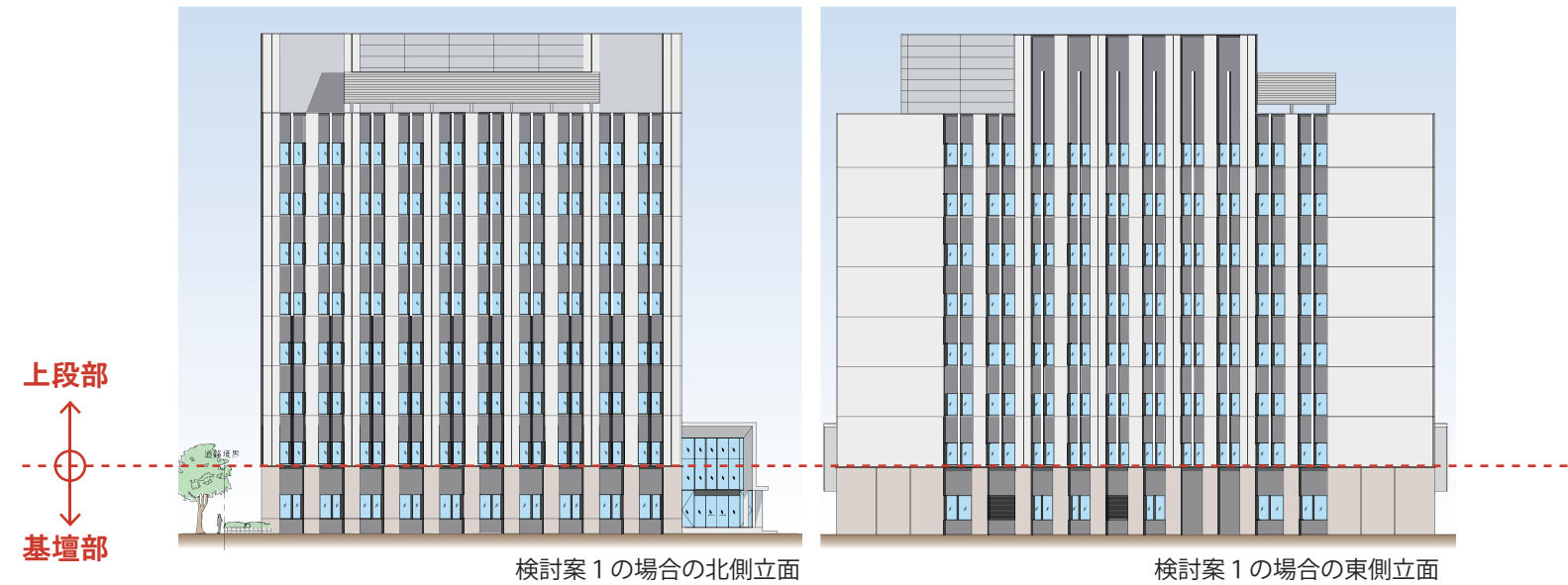
- 建物の色調は周辺建物の色調の他、プロムナードからの人の視線を踏まえた色調に配慮する。
- 色彩計画は「札幌市景観ガイドライン」を踏まえた色調、および色調の使用割合等を含め整理する。

< 基壇部 >

- ・プロムナードを利用者や、周辺歩行者等の視線を考慮し、親しみやすく穏やかな色調に配慮する。

< 上段部 >

- ・周辺建物との色調の関係性に配慮しつつ、合同庁舎として安定感・安心感が感じられる色調に配慮する。



※ 環境デザインイメージマップによる位置付けおよび札幌市景観ガイドラインとの対応

② 外観の基本方針を検討する

< 検討案1：近代美術館や知事公館の緑に呼応するデザインを考える >

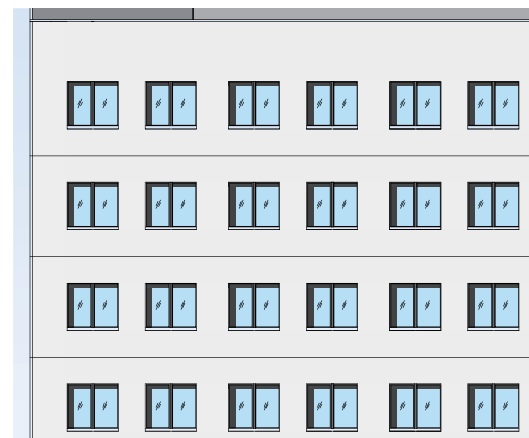
- 近代美術館の縦の方向性や、周辺の緑化帯と呼応するような縦を基調としたデザインを創出する。

< 検討案2：周辺建物と馴染むデザインを考える >

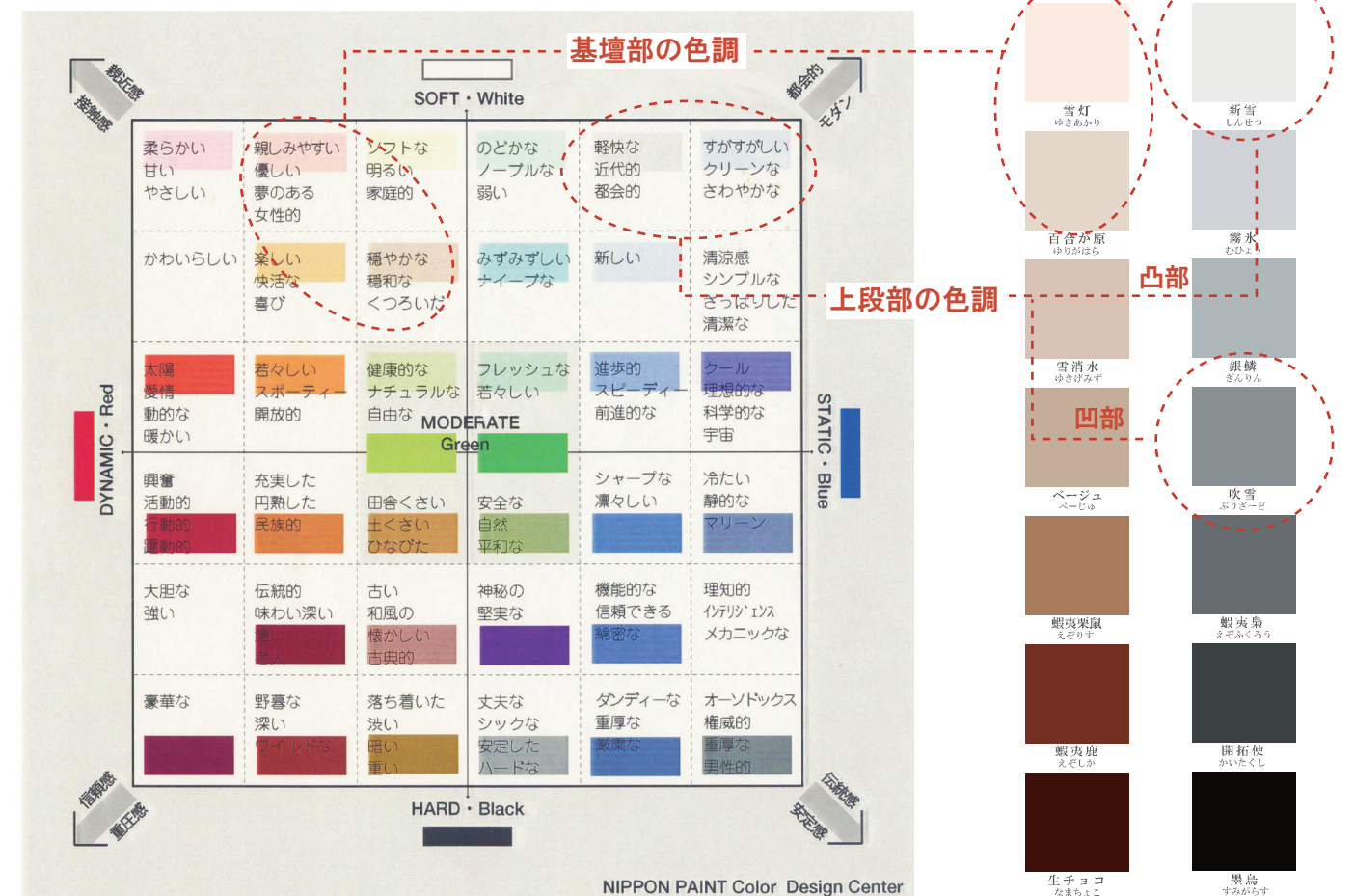
- 敷地周囲のマンションやビル群と馴染み、呼応するようなポツ窓を基調としたデザインを創出する。



< 検討案1：縦方向を基調としたデザイン >

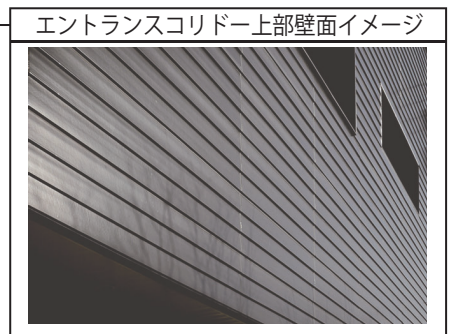
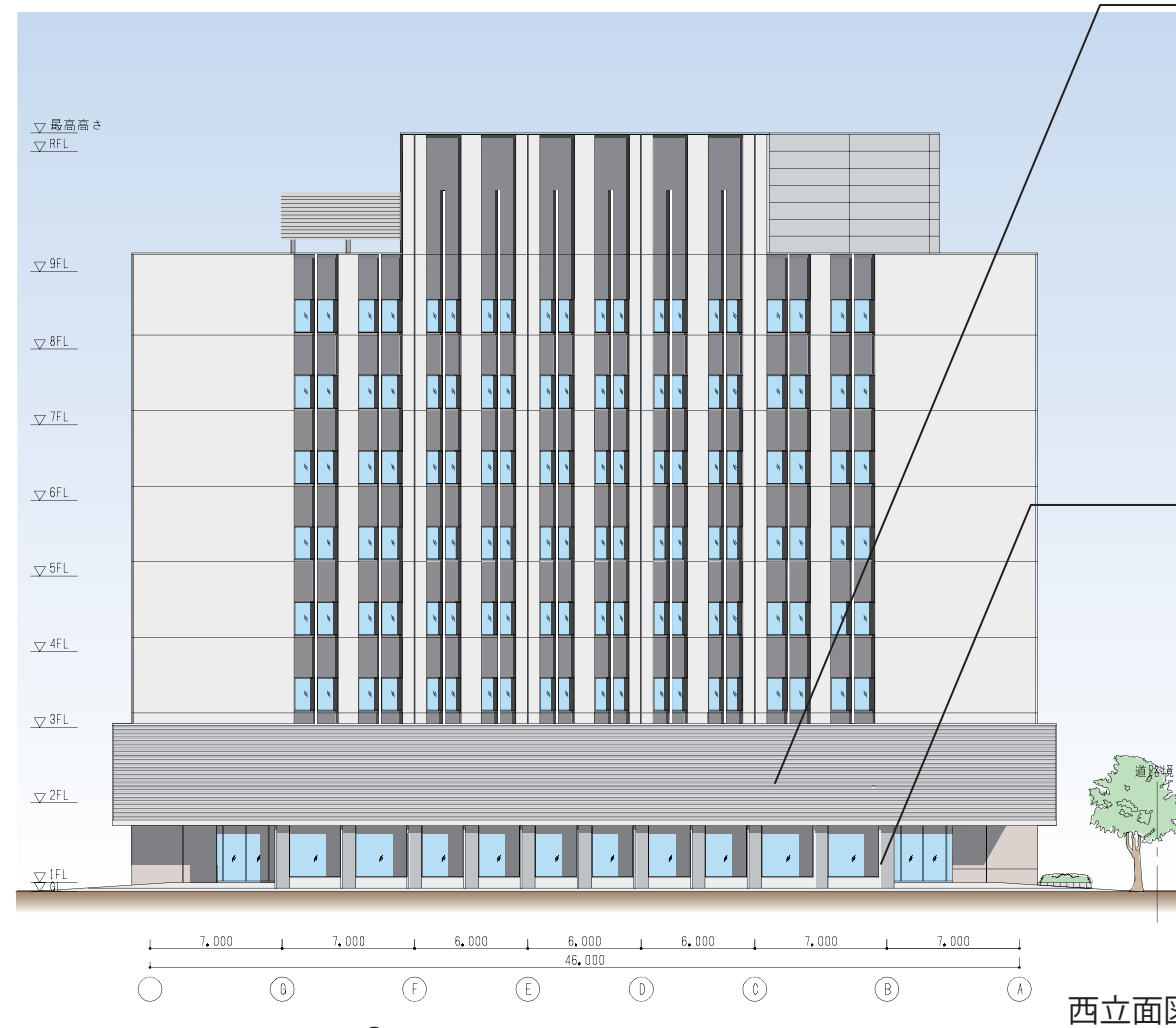
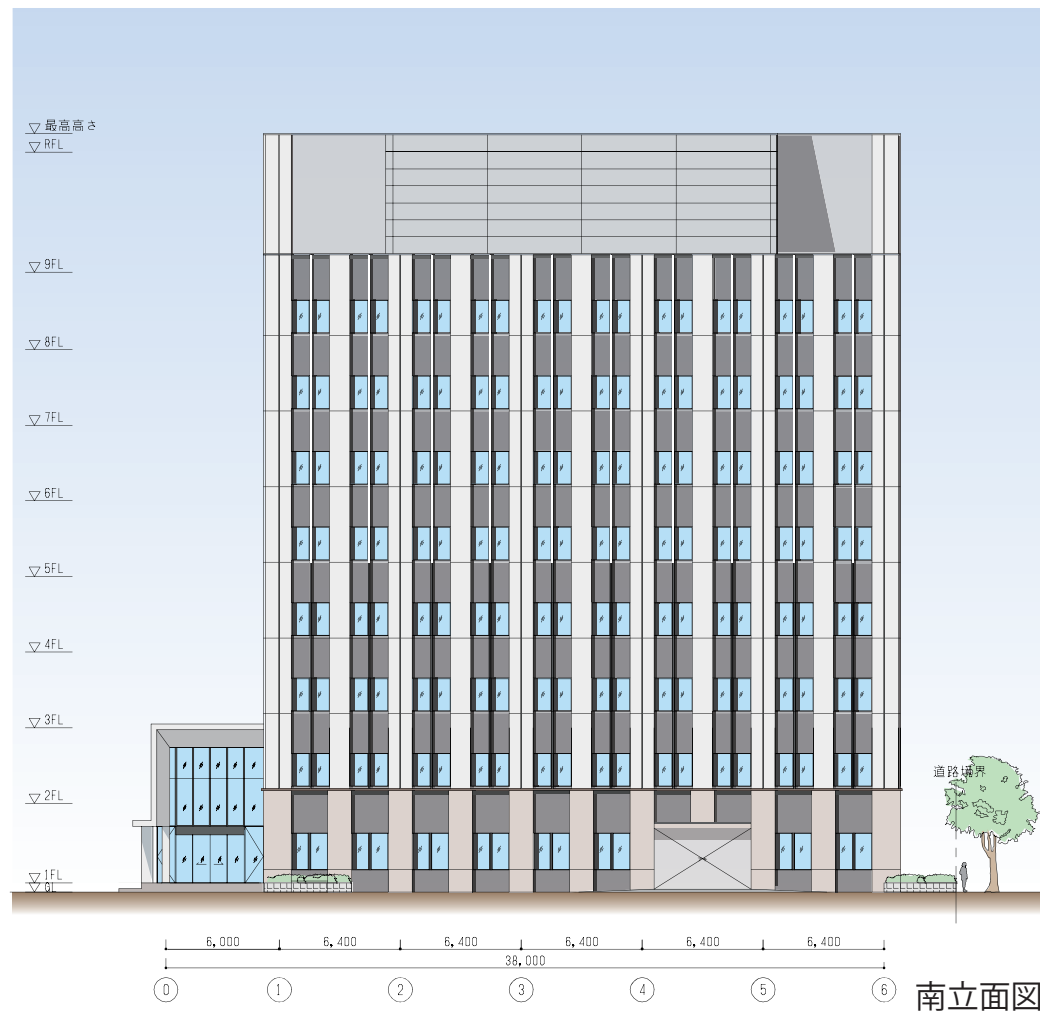


< 検討案2：ポツ窓を基調としたデザイン >



NIPPON PAINT Color Design Center
環境デザインイメージマップ

札幌の景観色 70色





南立面図



北立面図

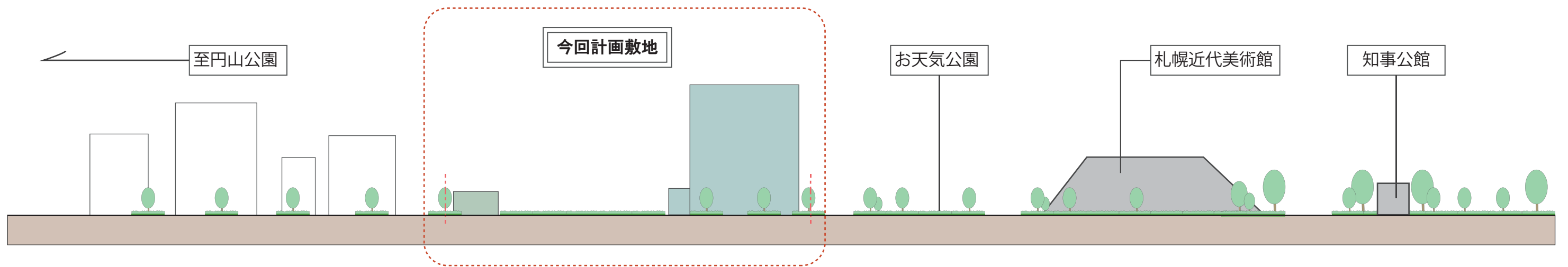
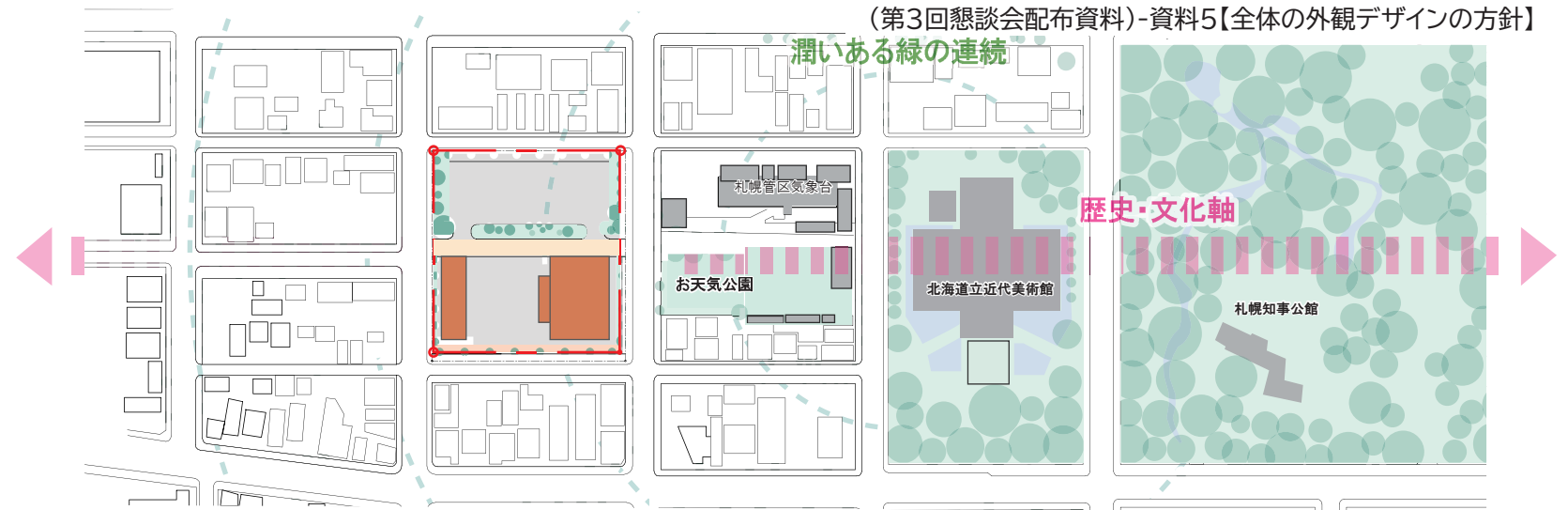


東立面図



西立面図

- ・歴史・文化を象徴しつつ将来のまちづくりを先導する外観構成を創出する。
 - ・札幌の文化・歴史・自然を感じさせる外観構成とし、将来のまちづくりを先導する。
 - ・地域の歴史・文化を感じる、テクスチャーや素材のモチーフを活かした北海道らしい庁舎を創出する。
- ・周辺環境と調和し、親しみの持たれる外観構成を創出する。
 - ・文教エリアと調和する、安定感や秩序、繊細さが感じられるデザインを創出する。
 - ・周辺環境と調和し、来館者や地域住民から親しまれる開かれた庁舎を創出する。
- ・周囲の潤いある環境となじみ、周辺環境と調和する外観デザインを形成する。
 - ・周囲の潤いある環境と呼応し、自然と建物がなじむ一体的なデザインを創出し、すべての人々に優しさやくつろぎを感じさせる施設を目指す。





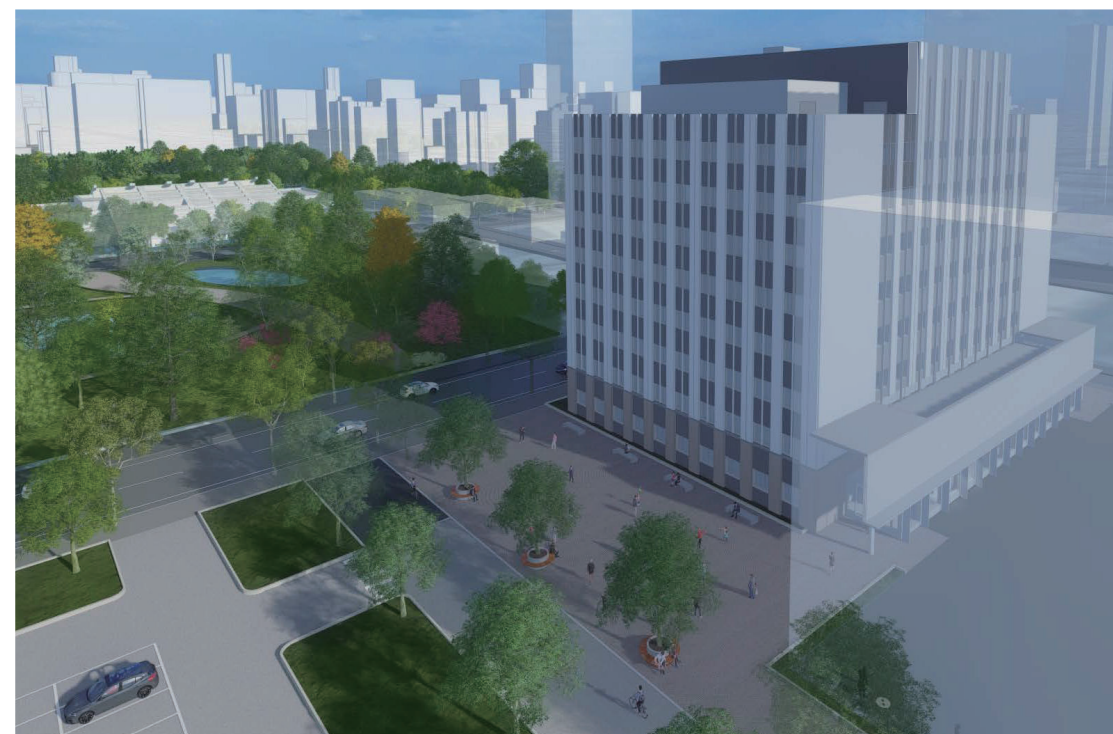
第4合庁完成時 敷地内アイレベルイメージ



敷地の高度利用時(将来計画) 敷地内アイレベルイメージ



西側からの俯瞰イメージ



プロムナード俯瞰イメージ1



プロムナード俯瞰イメージ2